

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		サポートキッズうけんのいえ				公表日	2025年 5月 17日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9				
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		保育士、言語聴覚士、作業療法士等ニーズにあわせて配置を行っている。		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		絵カードや写真等を使用して視覚的に取り組んでいる。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		4Sを徹底して行っている。		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		個別の部屋やパーティションを利用して、行っている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		全職員が参加できるよう取り組んでいる。参加が難しかった職員へは後日児発管から報告を行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		評価を踏まえての話し合いの場を設け、改善を図っている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		個別面談を行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9		役員や施設長等への評価をお願いし、改善点を皆で話し合っている。	他事業所とも交流を図り、外部からの目線での評価を取り入れていきたい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		月に1回の研修を行い、専門職員を講師にして取り組んでいる。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		事業所ホームページでの公表を行っている。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		全職員で意見を出し合いながら色々な目線でのアセスメントを取り、個別支援計画に落とし込んでいる。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		支援者会議で意見を出し合い行っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		都度共有を図っている。		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		独自の物を使用している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		本人・ご家族のニーズを汲み取り、各関係機関の相互理解の基、適切な支援がなされるよう計画書の作成を行っている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		全員で行っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		固定化しないよう児童に合わせたプログラムや四季やイベント、制作活動も取り入れている。		

供 の	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		各児童の特性を踏まえ、バランを考えて個別・集団プログラムの組み合わせを行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1	ミーティングで、一日の流れや役割、申し送り事項等を全員で確認している。	出勤時間などでミーティングに参加できない職員へは、業務日誌や出勤後知らせている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1	ミーティングの際に、気になった点や全員で共有するべき事項を確認している。	出勤時間などでミーティングに参加できない職員へは、業務日誌や出勤後知らせている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		徹底して行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		定期的にモニタリングを行い、各職員の意見を取り入れて見直しを検討している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	9			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		スクリレやお迎えの際に明日の確認、学校への連絡など常に行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9		利用の際には以前通っていた保育園や事業所等を含めて会議を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		9	現在対象児童がおらず、評価できていない。	今後対象児童がいる際には積極的に行っていきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9		巡回に来ていただいている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	9		長期休みを通して一緒に交流できる場を設けたり、参加させてもらったりしながら交流する機会を設けている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	1	現在自立支援協議会への参加はありませんが、要請があれば参加できる体制は整えています。地域連携では連絡会に入り積極的にお行っています。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		連絡帳や送迎、個別での連絡などで共通理解を図れるよう努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特レーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		専門職員を講師に立てて行っている。	
保護 者 へ の	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		契約時に行っている。	年1回で再度周知をしていきたい。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		モニタリングの際に話し合いを行い、作成後意向を再度確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9		運動会や、事業所でのイベントなどの際に行っている。	

説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		迅速に対応する事ができるよう対応体制をしっかりと行い、取り組んでいる。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		SNSや連絡帳を使って行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		書庫に鍵を掛けて取り扱いには厳重に注意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		SNSを使って視覚からも情報が分かるよう行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	1	地域の方に事業所での行事に参加していただけている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		事業所内にマニュアルを掲示している。	今後訓練の際に保護者の方にも協力していただきながら、その都度訓練の際緊急連絡先に連絡がきているか等の確認も含めて行っていきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		月に一回実施している。様々な想定を行い訓練に努めている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		契約時に確認し、記入をしてもらっている。状況が変わった際には、追記をしてもらっている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	5		現在食物アレルギーの対象児童がいない為、取り組んではいないが、今後利用がある際には連携をとりながら指示に基づいて安全に取り組んでいきたい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		マニュアルを作成し、職員間でその時期に合った安全管理研修を行い、支援に努めている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		契約時に伝えている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		報告書を提出し、職員全体で話し合い別の予測も立てて、再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		年に2回以上研修を行い虐待防止に努めている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	6		現在対象児童がいないが、今後ケースがあった際には、速やかに保護者や関係機関等と連携をとり、マニュアルに基づいて保護者の同意をもらい、個別支援計画に記載して、安全かつ計画的に取り組んでいきたい。